

平成 31 年度（令和元年度） 社会福祉法人啓和会 事業報告

I 法人本部 事業報告

社会福祉法人啓和会は、平成 31 年度事業計画に基づき、設立の理念と公益性を踏まえ、多様化する福祉ニーズに応えられるよう、提供するサービスの質の向上に努めました。さらに事業経営の透明性の維持のため法令を遵守し、社会情勢の変化に柔軟に対応できる経営姿勢で事業基盤の強化を図りつつ、次に掲げる事業の経営を行いました。

社会福祉法人啓和会 運営状況一覧

	名 称	種別	事業内容	定員数	所 在 地	事業種別
法人運営	法人本部				久喜市六万部 1435	
	久喜けいわ	障害者支援施設	生活介護	67	久喜市六万部 1435	第一種
			就労移行支援	6	久喜市六万部 1445	
			就労継続支援 B 型	32		
			施設入所支援	54	久喜市六万部 1435	第二種
			短期入所	6		公益
			日中一時支援			
	グループホーム清久	グループホーム	共同生活援助	41	久喜市上清久 1524-1	第二種
	清久			(7)		
	上清久			(4)		
	仁丁町			(4)	久喜市六万部 1061	
	ハイツ清久			(4)	久喜市上清久 667-5	
	こすもす			(4)	久喜市葛梅 446-12	
	おぎそね			(7)	久喜市久喜東 4-20-13	
	こがらい			(7)	久喜市六万部 780-2	
	うちや			(4)	久喜市下早見 1769-1	
				短期入所		
	ワークハウスコムラード	障害福祉サービス事業所	就労継続支援 B 型	20	久喜市下早見 1769-6	第二種

法人運営	相談支援センター	相談支援事業所	相談支援		久喜市青毛 753-1	第二種
			障害児等療育支援			公益
			久喜市障害者就労支援			
			障害者就業・生活支援			
			埼玉県地域生活定着促進			
			巡回支援専門員整備事業			
			久喜市基幹相談支援			
障害者生活支援センターさよく	特定相談支援事業所	相談支援		久喜市六万部 1445	第二種	
久喜市指定管理受託運営	久喜市いちょうの木	障害福祉サービス事業所	生活介護	40	久喜市所久喜 835-1	第二種
			日中一時支援			公益
	久喜市ゆう・あい	障害福祉サービス事業所	生活介護	20	久喜市上内 327-6	第二種
			日中一時支援			公益
	久喜市あゆみの郷	障害福祉サービス事業所	生活介護	15	久喜市東大輪 2273-1	第二種
			就労継続支援 B 型	15		
			日中一時支援			公益
	久喜市立のぞみ園	障害児通所支援事業	児童発達支援事業	10	久喜市北青柳 1331	第二種

久喜けいわ施設入所・生活介護では、利用者の高齢化・加齢による転倒事故が増えたため、必要な箇所に手すりを設置しました。また、夏の暑い時期に実施していた盆踊りも利用者の体調面を考慮し、「夏まつり」と変えて機能訓練棟内で実施しました。今後も利用者の現状に合わせた環境整備と活動の見直しを進めていきます。

久喜けいわ就労移行では、4月より定員を15名から6名へ変更し、年度内に3名の方が就職しました。久喜けいわ就労継続B型では、月額平均工賃が16,466円の実績で、前年度に比べて約2,000円多く支給することができました。就労継続B型で取り組んでいる「けいわ味噌」で使用している大豆は、今まで自家栽培をしてきましたが、人員や経費の面から令和元年度をもって終了とし、今後は主に久喜市産の大豆を購入して確保していくことになりました。

グループホーム清久では、賃貸グループホーム「しらはた（仮）」の開設と、サテライト「こぎそね」の開設に向けて準備を進めました。70代の男性利用者が直腸ガンとなり、入院・手術を行いました。利用者の高齢化に伴い、親族がいない利用者の後見人等の手続きの必要性が増えてきています。

相談支援センターでは、生活支援は入所・入居系のサービス利用の希望が多いもの

の受入れる資源が足りないこと、就労支援は精神障害（疾患）の方の相談が増加している傾向がありました。久喜市基幹相談支援センターと久喜市で連携して、地域自立支援協議会の運営を行いました。平成 22 年より埼玉県から受託していた地域生活定着促進事業（触法障害者・高齢者への支援）は、令和 2 年 3 月末で受託終了となりました。

障害者生活支援センターきよくでは、サービス等利用計画書の作成 95 件、モニタリング作成 368 件と進捗状況は計画通りで良好でした。

ワークハウスコムロードでは、運営について定期的に検討会議を開き、開設当初より取り組んでいた弁当の製造・販売作業は、利用者の従事度が低いことから 8 月末で取りやめました。それ以降は、企業からの受託作業を活動の中心にして利用者確保に努め、利用契約者数は 26 名（定員 20 名）まで増えましたが、年間の平均利用率は 64.8%と採算が合うまでには至りませんでした。

いちょうの木では、2 名の利用者が医療機関に長期入院したため、利用率が伸び悩みました。創作活動にも力を入れ、8 月には埼玉県障害者アート展覧会に利用者の作品を出展しました。年度末で給食の委託契約期間が満了になるため、関係者で協議を行い、引き続き日清医療食品株式会社と契約をすることになりました。

のぞみ園では、平均利用率は 63.2%で前年同様低調でした。幼稚園や保育園と併用しながら通園するお子さんや、令和 2 年に入ってからには新型コロナウイルスの影響で自主的に利用を自粛されたお子さんがいたことで利用率が上がりませんでした。年度末で久喜市の指定管理の契約期間が満了となりましたが、公募に応募し、引き続き指定管理を受託することができました。

ゆう・あいでは、収支バランスが良く、経営状況は良好でした。活動内容の充実を目標に掲げて、新しい作業等に取り組みました。行動障害への対応に苦慮したところがあり、今後はより職員の専門性を高めていくことが必要です。

あゆみの郷では、就労継続 B 型の平均工賃が 15,003 円で昨年度と比べると 1,072 円増えました。就労継続 B 型の利用率は 101%と好調でしたが、生活介護は体調面で利用できない利用者がいたり、県外の GH に入居することになった利用者がいて利用率が 91%と伸び悩みました。ボランティアの受け入れ延べ人数は 628 名と地域の方との交流が活発です。

（ 1 ） 理事会・評議員会及び監事会の開催

令和 2 年 3 月 31 日現在

日 時	審議事項・目的事項	場 所	出席状況
令和元年 5 月 21 日（火） 監事監査 10：00～16：00	1 平成 30 年度理事の業務執行状況 2 平成 30 年度財産の状況	久喜けいわ	監事 1 名 常務理事 幹部職員
令和元年 5 月 27 日（月）	議 題	久喜けいわ	理事

<p>第 107 回役員会 14 : 00～16 : 30</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 定款の一部変更の件 2 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業報告の承認の件 3 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの計算書類及び財産目録の承認の件 4 理事候補者 9 名の選出の件 5 監事候補者 2 名の選出の件 6 評議員選任・解任委員の選任の件 7 第 72 回評議員会（定時評議員会）の招集の決定の件 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 2 社会福祉充実残額の件 		<p>8/8 監事 1/2</p>
<p>令和元年 6 月 18 日（火） 第 72 回評議員会 15 : 00～17 : 05</p>	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業報告の内容報告の件 2 監督官庁が実施した検査又は調査結果の件 3 社会福祉充実残額の件 <p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 定款の一部変更の件 2 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの計算書類及び財産目録の承認の件 3 理事 9 名の選任の件 4 監事 2 名の選任の件 	<p>久喜けいわ</p>	<p>評議員 9/10 監事 1/2 理事長 常務理事 常勤理事 3 名 非常勤理事 3 名</p>
<p>令和元年 6 月 18 日（火） 第 108 回役員会 17 : 15～17 : 40</p>	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年 6 月 18 日開催定時評議員会の審議結果について <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理事長、常務理事及び業務執行理事の選定の件 2 業務執行理事の業務分掌決定及び職員職務の委嘱の件 3 業務執行理事の報酬額等の決定の件 4 理事及び監事の責任限定契約の締結の件 5 評議員選任・解任委員の選任の件 	<p>久喜けいわ</p>	<p>理事 9/9 監事 2/2</p>
<p>令和元年 9 月 26 日（木） 第 109 回役員会 15 : 00～16 : 25</p>	<p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 虐待防止委員会規程の制定の件 運営規程の一部改正の件 2 久喜市あゆみの郷運営規程の一部改正の件 	<p>久喜けいわ</p>	<p>理事 9/9 監事 2/2</p>

	3 久喜市立のぞみ園運営規程の一部改正の件 4 令和元年度第1回補正予算(案)の承認の件 5 自動車保険契約締結の件 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 2 理事会での質疑の件		
令和2年2月13日(木) 第110回役員会 15:00~16:30	議題 1 グループホーム清久事業計画の承認の件 2 令和元年度第2回補正予算(案)の承認の件 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 2 監督官庁が実施した検査結果の件	久喜けいわ	理事 9/9 監事 1/2
令和2年3月25日(木) 第111回役員会 14:00~16:20	議題 1 幹部職員人事の承認の件 2 令和元年度第3回補正予算(案)の承認の件 3 令和2年度事業計画(案)の承認の件 4 令和2年度収支予算(案)の承認の件 5 久喜市いちょうの木給食サービス業務委託の更新の件 6 職員給与規程の一部改正の件 就業規則の一部改正の件 7 職員就業規則の一部改正の件 8 契約職員就業規則の一部改正の件 9 契約短時間職員就業規則の一部改正の件 10 グループホーム清久運営規程の一部改正の件 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件	久喜けいわ	理事 9/9 監事 2/2

(2) 戦略的な法人運営

ア 新たな経営方針による事業戦略

(ア)新たに定めた経営理念・基本方針を浸透させるために、全職員に資料配布、各事業所の事務所に掲示、各事業所の会議や朝会等の場で読み合わせや唱和を行いました。

(イ)利用者ニーズとサービス提供の両面から事業運営を効果的に行うために、4月より久喜けいわ就労移行の定員を15名から6名へと変更し、少人数できめ細かい支援を行いました。

イ 経営財源確保等

(ア) 毎月、幹部会議において全事業所の利用率と収支状況を定期的に確認しました。利用率については、ワークハウスコムラード、久喜市立のぞみ園が低迷し、収益アップにつながりませんでした。収支状況については、平成30年度の報酬改定の影響もあって、久喜けいわ就労移行、グループホーム清久、ワークハウスコムラードは厳しい収支結果でした。

(イ) 独立行政法人福祉医療機構借入金の償還状況は以下の通りです。

借入年度 借入先	借入額	期首残高	令和元年度 償還金	借入残高
平成18年度 福祉医療機構 (就労継続)	25,000,000	10,480,000	元金 1,310,000 利子 186,675	9,170,000
平成27年度 福祉医療機構 (GH清久)	10,000,000	9,168,000	元金 576,000 利子 48,972	8,592,000
合 計	35,000,000	19,648,000	1,886,000	17,762,000

(ウ) 給付費の加算内容を研究し、久喜けいわにおいて、重度加算を取得したことで、収入アップにつながりました。

(エ) ワークハウスコムラードの黒字化に向けて、法人本部・コムラード・相談支援センターで定期的に検討会議を開き、利用者確保や活動内容の見直しについて協議を行いました。

ウ 今後の事業構想

(ア) 平成31年度（令和元年度）以降の事業構想に沿い、下記の施設整備・修繕を実施しました。

事 業 内 容	事 業 費 (円)	財 源
1 けいわ管理棟 AED 更新	205,700	自己資金
2 けいわポンプ室給水ポンプ交換	378,200	〃
3 けいわ管理棟・生活棟受水槽ボルト交換	634,176	〃
4 けいわ管理棟・自立棟消防設備修理	226,800	〃
5 けいわ北口玄関テント修理	270,000	〃
6 けいわ男性棟トイレ、流し台修理	210,600	〃
7 けいわ自立棟受水槽修理	432,000	〃
8 けいわ自立棟エレベーター点検修理	241,358	〃
9 けいわ自立棟漏水修理	212,685	〃
10 けいわワーク棟食品加工室給湯器整備	140,200	〃
計	2,951,719	

(イ) 久喜けいわ（生活棟）の老朽化に対して必要な修繕は行いましたが、旧棟建替の検討等、具体的な整備計画策定まで至りませんでした。

- (ウ) 賃貸グループホームは家主との調整がついて、グループホーム「しらはた(仮)」として建設を進めることになりました。
- (エ) ウィンドウズ 7 (パソコンのオペレーティングシステム) のサポート終了に伴い、ウィンドウズ 7 を搭載している業務用パソコンは全てウィンドウズ 10 のパソコンに入れ替えました。
- (オ) 適正な文書管理のためのシステム構築の検討は、実施まで至りませんでした。

(3) 「働きやすい」「働きがいのある」職場作り

ア 「働きやすさ」の追求

- (ア) 経営理念について全職員にアンケートを取り、そこから出された意見をもとに、年間休日数を増やす検討を行いました。検討の結果、令和 2 年度から年間休日数を 107 日から 113 日に増やすことになりました。
- (イ) 4 月より義務化された「年次有給休暇の 5 日間取得」は、全事業所で達成しました。
- (ウ) 職員からあがった休暇の希望は、できるだけ希望に沿って取得できるように調整しました。今後はより連休が取れるようにしていきます。
- (エ) 各事業所で業務の見直しを行い、時間外労働の削減に努めました。
- (オ) 休憩時間と休憩場所を確保できるよう検討を行いました。具体的な休憩室の整備は令和 2 年度に持ち越しとなりました。

イ 人材育成プランの充実

- (ア) 上司からの指示を受けて動くのではなく、自ら業務上の課題を捉えて課題解決ができるよう、業務を通して考える機会を作りました。
- (イ) 予定していた中堅職員研修の「事例報告会」は、新型コロナウイルスの影響で実施することができませんでした。
- (ウ) 法人内部研修では、「新任職員研修」「個別支援計画勉強会」等は実施しましたが、虐待防止委員会企画の法人内虐待防止研修「アンガーマネジメント研修」は、新型コロナウイルスの影響で実施することができませんでした。

ウ 12 月 2 日に職務点検の評価をする評価者を対象とした「人事考課者基礎研修」を実施し、評価者側の教育と点検活動の精度向上を図りました。

エ 10 月に新設された特定処遇改善加算に必要な申請・手続きを行い、適正に執行することができました。

(4) 人材採用

ア 10 月に法人のホームページをリニューアルし、同時に職員のインタビューやアンケートを掲載した採用情報ページを公開しました。

イ ホームページの内容を適宜更新するとともに、新しくフェイスブックやインスタグラムといった SNS も活用して、法人の紹介や活動の情報発信を行いました。

ウ 実習担当職員を中心に、実習生の指導を丁寧に行いました。実習生の感想は、概ね好評でした。

エ ハローワーク・福祉人材センター・人材紹介会社等に求人を出しました。また、人材フェアといった面接会にも積極的に参加しましたが、新卒者の採用を

することができませんでした。

オ 職員の紹介で人材確保を積極的に行いました。短時間勤務での採用も進め、多様な採用活動を行いました。

(5) 法人本部機能の再構築

- ア 将来経営を担う幹部職員に対し、幹部会議やキャリアパスの面談等を通じ、経営意識の向上に努めました。
- イ 法定上必置の委員会以外では、キャリアパス検討委員会、虐待防止推進部会、人材育成・研修委員会、広報委員会が主に活動しました。それぞれの目的に合わせ活発に活動し、効果がでてきています。

(6) 経営会議等の開催

- ア 主査以上が参加する幹部会議を12回開催しました。法人運営にかかわる経営課題を抽出、課題解決に向けた意見交換を行うことで、幹部職員の経営意識の向上に努めました。
- イ 利用者の高齢化に伴う諸問題に直面している久喜けいわとグループホーム清久で情報交換を行ったり、けいわの職員を対象にグループホームについての勉強会を行いました。また、高齢化に対する環境整備の参考にするため、久喜市内の高齢者施設や、市外の身体障害者施設の見学を行いました。

(7) 虐待防止への取り組み

- ア 虐待防止推進部会を中心に年間の虐待防止活動を計画し、それに基づいて各事業所で、「法人の倫理綱領・行動規範の読み合わせ」「虐待防止職場テキストの読み合わせ」「虐待防止内部研修」等を実施し、人権意識の向上を図りました。
- イ 今年度は委員による施設巡回は行いませんでした。代わりに、虐待防止セルフチェックリストを活用し、職員各自で自身の言動をチェックするようにしました。
- ウ 虐待防止推進部会において、「虐待事案対応スキーム」「身体拘束ガイドライン（案）」を作成しました。

(8) 社会貢献事業の取り組み

- ア 休耕田を利用した大豆づくりや「ふれあいの家白幡」を開放し、地元の高齢者デイサービス等に利用していただきました。
- イ 地先管理として、近隣の草取り等を行い、地域の美化活動に努めました。
- ウ 10月3日に久喜けいわ機能訓練棟を使って「福祉避難所開設訓練」を久喜市と協働して実施しました。要保護避難者の受入れに関して、福祉避難所としての手順や機能等、具体的なイメージを持つことができました。
- エ 彩の国あんしんセーフティネット事業は、相談支援センターで支援に介入し、1件の現物給付の実績でした。
- オ 久喜市フレンドシップ学級運営委員として職員5名を派遣しました。
- カ 地域行事への参加や協力、地域団体への加入、ふれあいの家白幡の有効活用

等、日常的な地域とのつながりを深め、連携の強化を図りました。

(ア) 地域行事への参加

久喜市民祭り出店、久喜市提灯祭り参加、久喜市防災訓練、久喜地区平和と人権の集い出店、ホットハートフェスティバル出店、久喜特別支援学校祭り出店、地区の運動会参加、地区の祭り参加、地区の収穫祭参加、地区の新年の集い参加、地区マラソン大会参加出店

(イ) 行政や地域団体との連携

久喜市障害区分認定審査会委員、幸手市障害区分認定審査会委員、杉戸町障害区分認定審査会委員、宮代町障害区分認定審査会委員、久喜特別支援学校評議員、騎西特別支援学校評議員、第73区自主防災組織副会長、久喜市地域自立支援協議会委員、久喜市障がい者施策推進協議会委員、フレンドシップ学級委員、サービス管理責任者研修分野別ファシリテーター、埼玉県発達障害福祉協会理事、埼玉県知的障害児・者生活サポート協会監事、けやきの木利用審査委員会委員に就任し、職責を果たすよう努めました。

(ウ) ふれあいの家白幡

「ふれあいの家白幡」は、婦人会活動など地域で有効に活用され、喜ばれています。

(9) その他

ア 新しく設立された啓和会後援会の役員会を8月19日に、総会を8月24日に実施しました。

イ 10月12日に上陸した台風19号によって甚大な被害を受けた県内の障害者施設に対して、以下のように職員を災害派遣しました。

日付	施設名	職員数	支援内容
10/15	障害者支援施設しびらき (さいたま市桜区)	3名	建物内の泥の掻き出し 建物内の荷物の運び出し
10/16	障害者支援施設しびらき (さいたま市桜区)	5名	建物内の泥の掻き出し ビニールハウス内の苗の処分
10/17	障害者支援施設初雁の家 (川越市)	3名	建物内の泥の掻き出し 建物内の荷物の運び出し
10/18	障害者支援施設初雁の家 (川越市)	3名	建物内の泥の掻き出し 建物内の荷物の運び出し
10/22～ 11/20	総合福祉センターオアシス (川越市)	6名 (延べ)	避難所に避難をしている初雁 の家利用者の生活支援

ウ 令和2年2月より、新型コロナウイルスの対策として「利用者・職員とも手洗い・うがいの励行」「利用者・職員とも検温の実施」「職員のマスク着用」「施設内の共有箇所のアルコール消毒」「日中活動の見直し」「久喜けいわ（入所）とグループホーム利用者の面会及び一時帰宅中止」「3密（密閉・密集・密接）を作らないこと」等を徹底して実施するとともに、久喜けいわ（入所）とグループホームにおいては、感染者が発生したことを想定して、隔離場所や対応方法等の具体的なシミュレーションを行いました。